



南町小だより

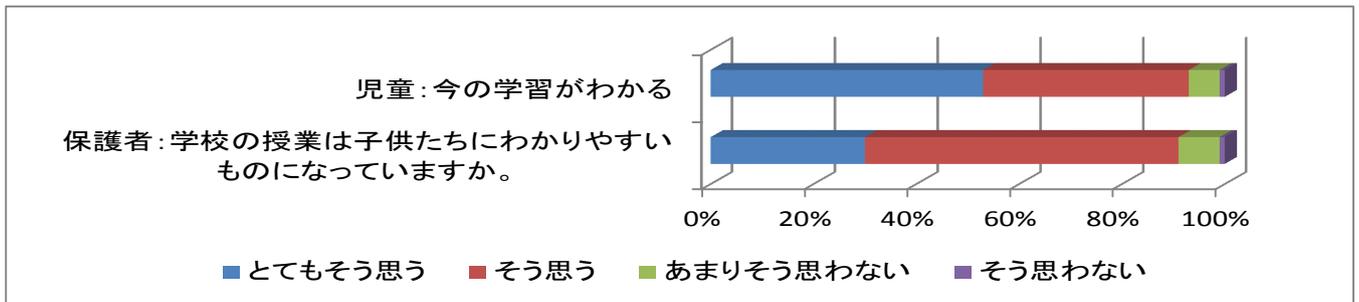
つよく かしく あたたかく

平成28年 2月29日

校長 福田 俊彦

平成27年度 学校評価のまとめ

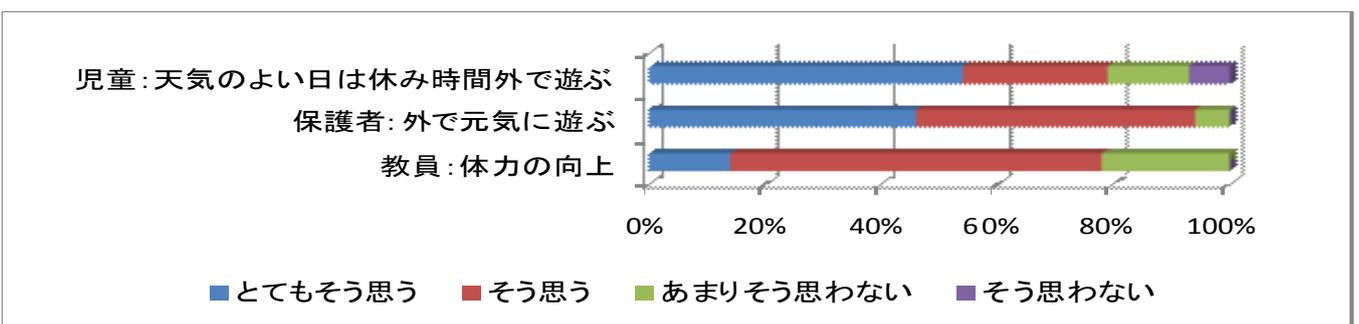
<学習について>



今年度、学校では「ねらいを明確にもち児童に示す授業」「1単位時間の展開が分かる板書とノート指導」「児童が戸惑わない発問の工夫」「振り返りをポイントとした授業」を重点にして授業改善を進めてきました。保護者アンケートの「学校の授業は子供たちにわかりやすいものとなっていますか」という問いに「とてもそう思う・そう思う」の割合が昨年度より1ポイント増え91%となっています。児童の「授業がわかる」という問いに「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合は、93%で、昨年度の91%に比べ、今年度は2ポイント増えました。これからも児童にとってわかりやすい授業のため、先に示した点を意識しながら授業を進めて参ります。

特に算数では、3年生以上で習熟度別少人数指導を実施しています。4年生以上では学力向上支援講師も含め、2クラスを4グループに分けた指導を実施しています。習熟度別グループにより学習課題や学習形態を工夫して児童の実態にあった授業を展開することで、児童が問題を解決できた達成感や満足感を得ることができた結果と思われます。今後も指導方法を工夫して、児童が分かる授業、児童の力を伸ばす授業を実践して参ります。

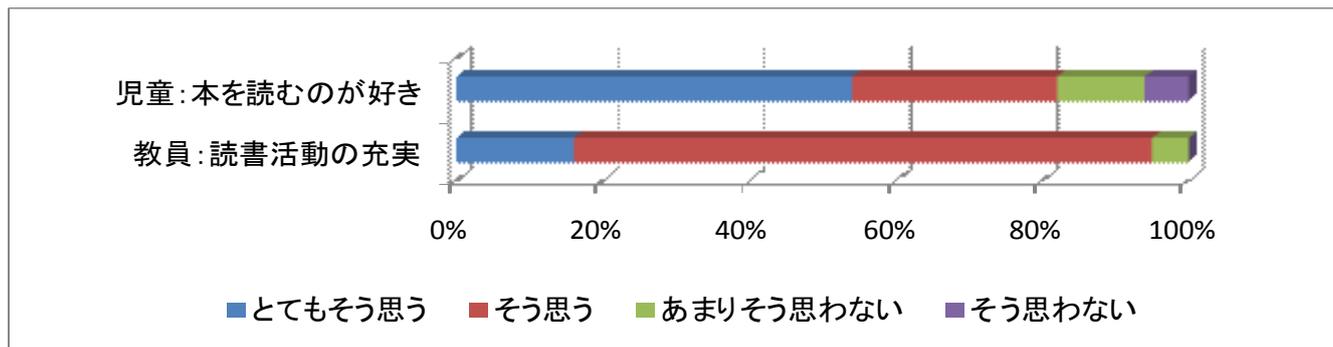
<体力の向上>



「外で元気に遊ぶ」という質問に「とてもそう思う・そう思う」と答えた保護者は92%から94%、児童の「天気の良い日は休み時間外で遊ぶ」は75%から79%、教員の体力向上の意識も66%から78%と昨年度に比べるとよい結果となりました。体育の授業を工夫したり、クラス遊び等意図的に休み時間の活動を取り入れたりして運動する時間を多くしてきたことによるものと思われます。しかし、児童と教員の肯定的な意見は約80%であり、体力テストの結果を見ても、柔軟性や走力に課題が見られます。授業で準備運動や体ほぐしの運動を工夫したり、走る運動を多くしたりすること、さらに「なわとび週間」や「持久走週間」等全校で運動する活動を充実させることで体力向上に努めて参ります。

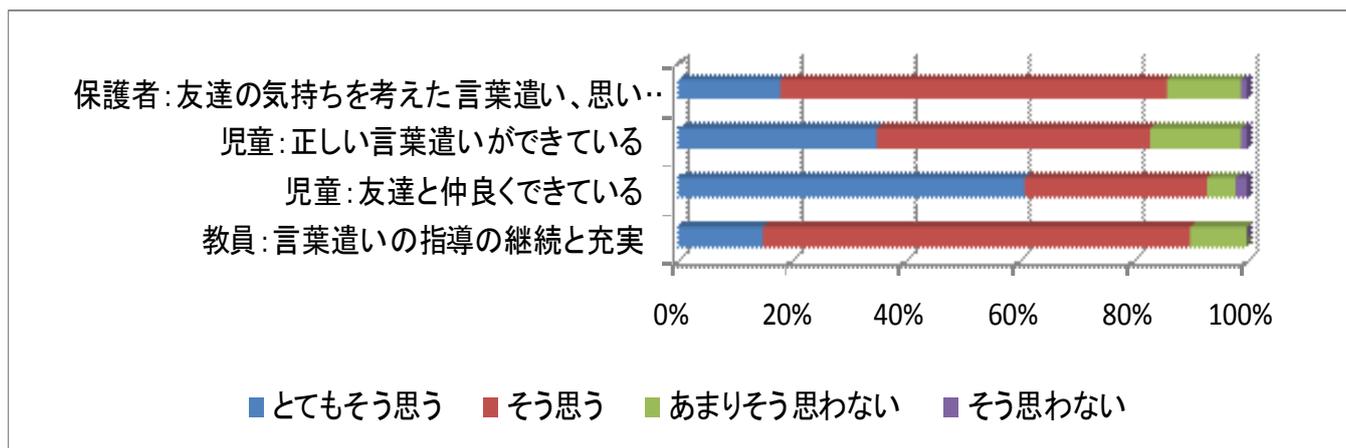
また体を動かすもとになる体作りのためには睡眠や栄養が欠かせません。「早起き・早寝・朝ご飯」の習慣作りにご家庭でも取り組んでほしいと思います。

<読書活動>



「本を読むのが好き。」との質問に「とてもそう思う・そう思う」と答えた児童は昨年度の76%から82%と6ポイント上がりました。教員の読書活動への取組の意識も肯定的な意見が95%と高い結果となっています。今年度は引き続き朝読書を週2回実施しました。また、読書週間に合わせて、「お話会」（低学年）や「本の探検ラリー」（中学年）、「ブックトーク」（高学年）を実施しました。このことが児童の読書に対する興味・関心を高めるきっかけになったと思われます。今後は、図書委員会の児童の他に保護者の方々による読み聞かせ等も計画し、読書活動の充実さらに力を入れていきたいと思ひます。また、学校開放図書や区立図書館との連携を深めて、学校図書館や学級文庫の充実を図って参ります。

<豊かな心の育成(挨拶・言葉遣い)>

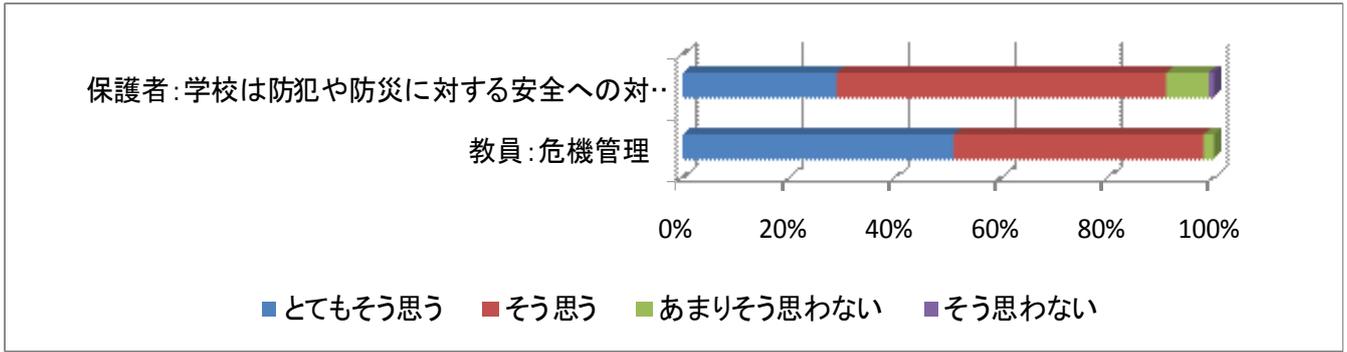


保護者アンケートで「友達の気持ちを考えた言葉遣い、思いやり等ができる」の質問に「とてもそう思う・そう思う」の回答が76%、児童へのアンケートで「正しい言葉遣いができている」の質問に「とてもそう思う・そう思う」の回答が86%、教員へのアンケートで「言葉遣いの指導の継続と充実」に対して「とてもそう思う・そう思う」の回答が90%の結果となりました。このことは、相手の気持ちを思いやる子、正しい言葉遣いができる子を育てるために今年度も「言葉遣い」や「挨拶」の取組を工夫してきたためと思われます。また、学校公開時に保護者の方が校門で挨拶をしてくださったことも大きな力となりました。

挨拶については、保護者の方から「学校で子供たちに会うと元気に挨拶をしてくれます。」との意見が複数ありました。教員から見ても校内にいらっしゃった方に自分から「こんにちは」と挨拶をする児童の姿が多くなったと感じます。一方「校外で挨拶しても返ってこないのが気になります。」との意見もいただきました。今後は、時や場所、相手に合わせて気持ちよい挨拶ができるように指導して参ります。

言葉遣いについては保護者の方から「優しい言葉や敬語等子供たちの言葉遣いを改善すべきだと思ひます。」という意見があり、課題が残りました。学校では、友達に対して「くん」「さん」を付けること、また不適切な言葉を使っていたらそれを見逃さずに指導することに力を入れ、よい話し方を教えて示していきます。言葉遣いを改めることは、学校だけではできません。日頃の大人の言葉遣いが子供に影響します。保護者の皆様にもご協力いただきながら、進めていきたいと思ひます。

<防犯・防災>

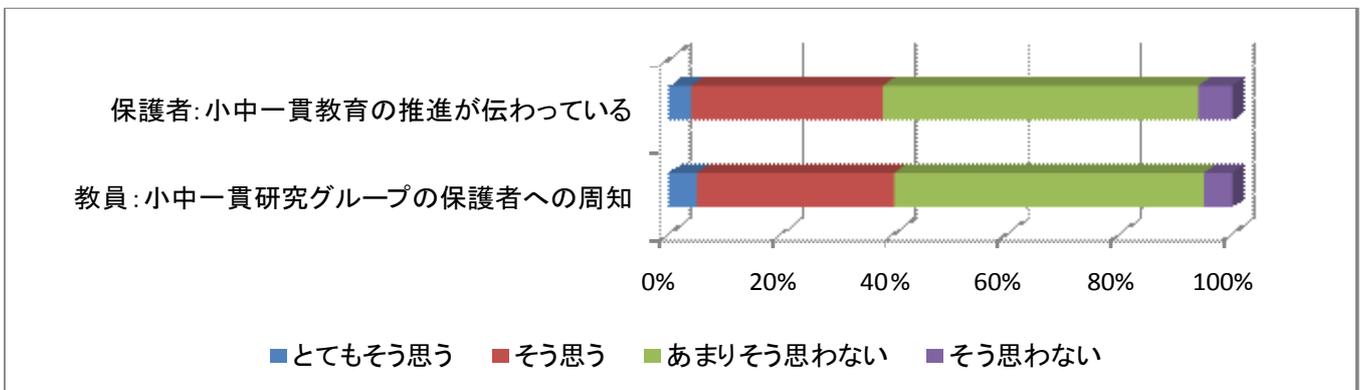


防犯・防災に対しての質問に対して、肯定的に答えた割合は、保護者が91%、教員が98%と高い結果となりました。

防犯については、不審者を学校の敷地に入れないことを第一に考え、「通ったら門を閉める」「東と西の昇降口の扉を閉める」「校内で会った方に声をかける」等を徹底して行ってきました。児童が自ら進んで門や昇降口の扉を締める姿が多く見られるようになりました。今年度新たに保護者の方に安全安心ボランティアの募集をしたところ、20名を越える登録があり、ほぼ毎日活動していただいたことは、とても心強いことでした。また、PTAの防犯パトロールも確実に行っていただき、感謝いたします。今後も保護者、地域の方々にご協力いただきながら、防犯対策を進めていきたいと思っております。

防災については、今年度も第二次避難場所である総合運動場へ避難するなど様々な場面を想定した避難訓練を実施しました。また12月には、南町小地域防災委員会と連携して防災訓練を実施しました。寝袋体験やAED訓練、応急救護訓練等の体験活動を実際に行ったことで、児童の防災に対する意識の高まりが見られました。今後も「自分の命は自分で守る」ことを繰り返し話し、実践できるようにしていきます。

<小中一貫教育の推進>



保護者対象のアンケートで「小中一貫教育の学校の取組がわかりやすく伝わっていますか」という問いに対し、「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合は38%でした。昨年と比べると14ポイント上がりましたが、まだ十分ではありません。また、実際に小中連携教育を進めている教員も、保護者への周知が十分でないという回答が60%という結果でした。

南町小学校は、向山小学校と共に開進第二中学校グループとして9年間を見通した児童生徒の育成に向け、「人権教育カリキュラムの作成・実施」・「家庭学習の充実」・「児童生徒交流」の3点を中心に連携を進めています。具体的には、家庭学習状況調査を行い、その実態について共通理解を図ったり、11月のふれあい月間に合わせて開進第二中学校の生徒会役員が全校朝会で「思いやり宣言」の紹介をしたりしました。また、6年対象に部活動体験も行いました。しかし、保護者や地域の皆様に対して、その活動や成果を十分に伝えられなかったことが明らかになりました。今後は、実践した内容について、ホームページや学校だより等でお知らせしていきたいと思っております。

★学校評議員の方から★

保護者や児童、教員が行った学校評価の結果について、学校評議員会を開き、ご意見をいただきました。

○学習について…

「子供たちが落ち着いている。」「持久走大会で、みんなまじめに一生懸命走っていた。」との意見をいただきました。分かる授業を展開し学習に対する満足感を児童が味わうことができるようにすること、ねらいを明確にして児童の行動を価値付け意欲を高めていくことを大切にしていきたいと思えます。

○体力について…

「けがをしている子が多いが、運動量と関係しているのではないか。」「運動している子としない子との差が大きい。」「今年度、防球ネットが改修されたが、子供が安心して遊べる環境作りも大切である。」との意見がありました。実際に休み時間等に外遊びをする児童は多いとは言えません。クラス遊びを積極的に行ったり、なわとび週間や持久走週間等全校で運動に取り組む環境を作ったりするなどして、外で元気よく遊ぶ習慣作りに力を入れていきます。

また体力と関連して、『「早起き・早寝・朝ご飯」の習慣作りは、中学校では遅いので家庭に話してほしい。小学生のうちに朝食を食べる習慣が付いていれば、中学生・高校生になっても崩れない。』との意見もありました。今後も実態調査を行い、児童と共に保護者への啓発を行っていききたいと思えます。

○豊かな心の育成について…

『先日学校に行ったとき子供たちから「おはようございます。」と挨拶されて気持ちよかったです。』という意見をいただきました。言葉遣いについては、まずは親が自分自身の言葉遣いに十分気を付け、家庭でしっかり指導する必要があるとの意見がありました。また、本校の学区には不良凶書の自動販売機やビデオ店がないとの話もありました。豊かな心の育成に向けて学校だけでなく、保護者や地域の方とも一緒に取り組んでいきたいと思えます。

○小中一貫教育について…

「南町小の卒業生が全て開進第二中学校へ進学するとは限らないので保護者アンケート結果が低くなるは仕方がないが、小中9年間を見通した教育は意味のあることなので引き続き行ってほしい。」との意見がありました。地域の子供として小学校から中学校の9年間を通して育てていくことが大切だと考えます。今後さらに開進第二中学校と連携して小中9年間を見通した教育活動を充実させ、その取組について保護者や地域の皆様に学校日よりやホームページ等でしっかり紹介し、お知らせしていきます。

○オリンピック・パラリンピック教育について…

「4年後の東京オリンピックに向けて、南町小として具体的な取組があるとよい。外国語活動やボランティア活動などに力を入れるのもよいのではないか。」との意見をいただきました。オリンピック・パラリンピック教育は2020年東京オリンピック・パラリンピック実施に向けて今後各校で推進していかなければなりません。「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質を重点的に全教育活動を通して育成していきます。オリンピックの種目や障害者スポーツの体験や国際交流、日本の伝統文化の学習等来年度中に計画を立て今後実施していきます。その際、開進第二中学校との連携も視野に入れていきたいと考えています。

○SNSについて…

「小学生でも携帯電話を持ち、インターネットを自由に見たり、人を中傷する内容のメールを送ってしまったたりしているということを知り、心配している。」との意見がありました。東京都教育委員会では、昨年「SNS東京ルール」を策定しました。現在練馬区でもルールを策定中で、今後これらをもとに学校ルールと家庭ルールを定めることになっています。学校では、5年生児童と保護者対象に情報モラル講習会を実施し、マナーや情報モラルについて理解できるようにしています。しかし、SNSのルール、マナーを含めた児童健全育成ためには家庭の協力が必要不可欠です。学校、家庭、地域で連携を図りながら進めていきたいと思えます。